自民党機関紙「自由民主」〈号外〉神奈川1区支部版

まつ　もと　じゅん
松本純
中区・磯子区・金沢区
まちかど政治瓦版

平成29年5月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木　茂

5月号
2017年
No.173

松本純ホームページ 毎日更新中！　http:// www.jun.or.jp　▶ 検索キーワード「松本純」

政治家への原点は「街づくり」です

東急「桜木町」駅廃止問題　野毛の街の存続に掛けた大きな挑戦

大道芸で賑わう野毛のまち

前回のまちかど政治瓦版（2017年４月NO.172）では、これから横浜の関内・関外地区がどのように変わるのか取り上げました。この関内・関外地区にある野毛は松本の生まれた地であり、政治の原点になった地であります。人にも街にも歴史があり、野毛の街は松本を育てるとともに、松本に政治という使命を与えました。

松本が政治に興味を抱くきっかけになったのは、昭和33年７月の桜木町駅前の岸信介総理（当時）の遊説での総理との出会いでした。松本は、自分で撮った写真とともに「ぼくも一生懸命勉強しています。岸さんもお国のためにがんばってください」と書いた手紙を送りました。松本の手紙に対し総理がたいそう感激し、「明るく、清く、正しく、強く」と書いた色紙とお礼状をいただいたことです。そして、私の育った街である横浜野毛も時代の荒波に揉まれ、変わらなくてはいけない状況になりました。

野毛の街の最大の危機が東急線桜木町駅の廃止でした。みなとみらい地区の開発に伴い新たな鉄道計画が必要となり、JRと並行する形の東急桜木町駅が廃止されることになったわけです。当時の東急東横線桜木町駅は一日に10万人が乗り降りする駅であり、この駅がなくなることで人の導線が大きく変わり、愛する野毛の商店街が消えてしまう危機に陥ったのです。

1987年、横浜市と東急電鉄は、突然、「野毛地区街づくりを考える会」に東急桜木町駅の廃止を提案してきました。当時、松本はこの会の設立メンバーの一人であり事務局を担当していました。突然の提案に対して、このままでは野毛の街が終わってしまうという絶望と危機感を覚えたとのことです。当時街づくりを考える会では、は、野毛の振興策として大道芸のイベントを始めたところでした。東急桜木町駅の廃止は、野毛の中でも強い反対運動が起こりました。街づくりを考える会では当時の細郷横浜市長の「野毛を袖にしない」との確約を信じ、話し合いに応じ、1997年、当時の地元衆議院議員であった小此木彦三郎氏が立会人になる形で、「横浜市は、野毛の街づくりに積極的に関与する。東急電鉄は、野毛の発展のための資金として20億円を横浜市に寄付する。街づくり会は横浜市に発展計画を提案する」という三者協議がまとまりました。

そして、この危機をきっかけに松本は政治家になろうと決心したわけです。1990年６月24日の横浜市会議員中区補欠選挙に立候補し当選、政治の第一歩を踏み出しました。1996年、選挙制度改革もあり、地元に自民党の国会議員がいなくなるという危機が訪れました。そこで、若い松本に白羽の矢がたち、より大きな仕事をしたいと松本は衆議院議員に立候補し当選することになったわけです。

街づくりには非常に長い時間と手間が掛かります。松本が約３0年前に街づくり会で考え話し合ったこと、描いた地図が少しずつ完成しようとしています。しかし、街づくりには終わりがありません。そして、それは松本のライフワークなのです。

問合せ●〒231-0064 横浜市中区野毛町2-65　電話 045-241-7800　FAX 045-253-0585

まつ　もと　じゅん
松本純
まちかど政治瓦版　中区・磯子区・金沢区
2003年6月16日創刊
発行　かながわ1区支部
編集長　平木　茂
5月号
2017年 No.173
問合せ●〒231-0064　横浜市中区野毛町2-65　電話045-241-7800 FAX045-253-0585

いま地域で
（人・まち・出来事）

豊崎稲荷講を支えて

瀬ヶ崎東部町内会、瀬ヶ崎西部町内会
五代目講長　**相川満夫** さん（金沢区）

歴史ある「お稲荷様」を支える豊崎稲荷講中の皆さん

豊崎稲荷は、1779年(安永９年)に京都・伏見稲荷より認められた伏見稲荷の分社です。正式名称は豊崎稲荷大明神で「豊かな瀬ヶ崎村のお稲荷様」を意味します。先の大戦以後、途絶えていた講としての祭礼を30年前に復活させ、年２回（春の初午祭・２月、秋の大祭・10月）の祭礼が執り行われています。それを支えるのが、豊崎稲荷講に参加する瀬ヶ崎東部町内会、瀬ヶ崎西部町内会の人たちです。

５代目の相川満夫講長は、「明治時代は20数件だった講中も現在は80名ほどになり新しい世代の方たちも関心を持って祭礼に協力してくれています。お稲荷さんの周りを整備したり講中の旗も新調して増やしたり伝承に力を入れて来ました。しかし、現在高齢化も進んでいます。お稲荷さんの伝統、地域信仰として幾世代に亘って繁栄させていくためにも若い大勢の方が理解と参加をしていただく事が大事ですね」と講の継続に向けての抱負を述べました。

【2017年４月】松本議員の活動記録

3日●内閣府総合海洋政策推進事務局の設置にかかる看板掛け
●平成29年度消費者庁入庁式
4日●東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部(第7回)
●衆消費者問題に関する特別委員会
5日●国賓スペイン国国王王妃両陛下の訪日歓迎行事
●面会(ミャンマー内務大臣)
7日●第16回総合海洋政策本部会合
10日●災害時にトップがなすべきこと協働策定会議の報告
11日●第1回再生可能エネルギー・水素等関係閣僚会議
●第37回中央防災会議
13日●参議院内閣委員会
15日●安倍晋三内閣総理大臣主催「桜を見る会」

4/2 金沢土木建築業組合バーベキュー大会 ●野島公園内バーベキュー場で開催されたバーベキュー大会で塚本三千雄組合長や会員の皆さんから組合が取り組む問題等のご意見を伺いました。

4/8 隊友会横浜南支部意見交換会 ●横浜南支部・五島浩司支部長より、海上自衛隊初の女性護衛艦艦長として活躍された大谷美穂氏の素晴らしい講演がなされた報告がありました。

4/15 桜を見る会 ●「桜を見る会」が新宿御苑で開かれ安倍総理より「一億総活躍できる社会をつくっていけば、日本はもっと良くなっていきます」との挨拶がなされました。

4/16 卓球スクール横浜太洋ジュニア祝勝会 ●同クラブの１期生、笹尾明日香さんが「天皇杯・皇后杯平成28年度全日本選手権ジュニア女子の部」で優勝、東京オリンピックでの活躍が期待されます。

永田町日記

為公会と語る夕べ

４月12日　『為公会と語る夕べ』が開かれました。約2,800名の来場者を前に麻生太郎会長は、「学生時代に二大政党による政権交代が民主主義の正しい姿だと習ったが、今、そうした制度を採る国では混乱が起きている。翻って日本はこの４年間、政権が安定しているが故に経済政策にも継続性を持たせることができた。それならば責任政党、国民政党である自民党の中で大きな政策集団同士が切磋琢磨していく形の方が政治に安定をもたらすのではないか。それを世界に対して堂々と言えるよう、きちっとした政策集団を作り上げたい。そういったものを保守の中に作り上げていきたいと思っている」と語り、党内で二大政党制に替わる新しいシステムを構築するのが望ましい、という考えを示しました。